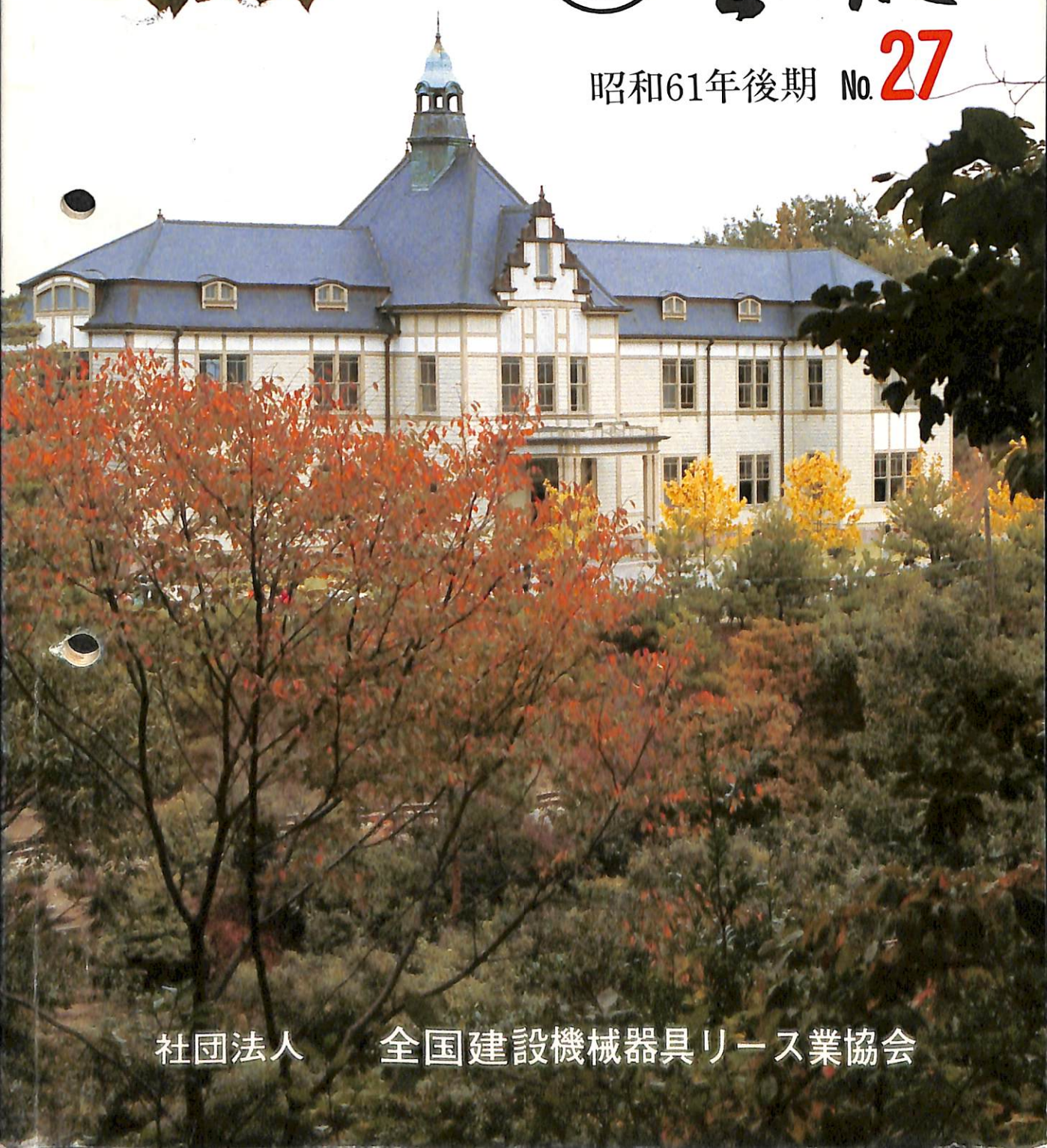




会報

昭和61年後期 No. **27**



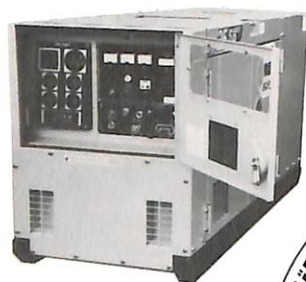
社団法人 全国建設機械器具リース業協会

Denyo

先進のテクノロジー デンヨーのパワーソース

エンジン発電機

0.5~750kVA



DCA-25 SPI

エンジン溶接機

100~650A



BLW-280SSW

エンジン・エア・ガラス切断・手溶接兼用機

切断 12~50A
溶接 50~180A



PCX-50SS

DPS-750SS



エンジンコンプレッサー

1.4~21.2m³/min

エンジン高圧水ポンプ

50~210kgf/cm²



DBJ-1538SSM

光と熱と力を供給して38年。
豊富な技術と経験で、
「時代のニーズ」に自信をもってお応えします。



●技術で明日を築く

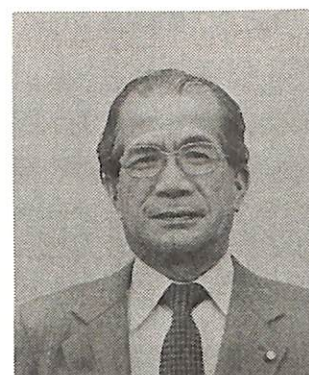
デンヨー株式会社

本社 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL (389) 3111

支店・営業所

札幌営業所011(862)1221・仙台営業所022(86)2511・北関東営業所0272(51)1931・東京支店03(552)1201・横浜営業所045(774)0321
静岡営業所0542(61)3259・名古屋営業所052(935)0621・金沢営業所0762(91)1231・大阪支店06(488)7131・高松営業所08787(4)3301
広島営業所082(255)6601・福岡営業所092(503)3553 出張所/全国主要39都市

—— 巻頭言 ——



(社)全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 昭

我が国は国際経済社会の中にあって、世界各国と経済活動の協調を前提に産業構造の転換期を迎えており、今後の対応が極めて重要視されておりますことは、既にご高承の通りであります。

貿易摩擦の波紋は輸出規制から、内需拡大による景気刺激政策の促進を迫られ、政府はこの程、3兆6,000億の補正予算を組み、公共事業費の増額が期待され、真水論争も繰返されておりますが、我々建設関連業に於いても一応、その恩恵に浴することを期待しておりますが、此の事がかえって業界全体の近代化を遅延させるのではないかと、危惧するものであります。

と申しますのは、今、協会の最も重要な課題は、近況法に基づく、業界ぐるみの集約化事業であります。これが構改3年目を迎えながらも一向に伸展していないという事実であります。

成る程、適正化事業面では比較的優良な一部会員に於いて、割増償却・政府系金融機関よりの融資等、助成措置の恩典に預かり、一応の成果をあげておりますが、実際に近代化を必要とする中小企業群における真剣なる現状認識と現状打破の意欲は那辺にある哉。

このままでは、企業格差は益々拡大されて業界ぐるみの近代化が失われるのではないかと案ずるからであります。

構造改善事業が現状のまま推移するならば経営基盤の確立も、社会的地位の向上も一部に止まり、大方困難になるのではないかと案ずるからであります。

何故、このような事態に立ち至ったのか、これを静かに省みる時、思い当たる節としてあげられるのは、当初よりの構造改善計画への取組姿勢にあるものと思います。

昭和56年10月中小企業近代化促進法に基づく指定業種として、賃貸業が取上げられ、その一年後には、特定業種に格上げされ、直ちに構造改善5ヶ年計画の策定作業に入り、昭和59年4月に建設大臣のご承認を戴き、早速、構造改善事業に着手した次第であります。この急ピッチの中で会員各位と充分なるコンセンサスが得られたか、(これが反省の第一であります。)

(次頁に続く)

会報第27号 目次

第3回定期総会	3
委員会担当及新役員名簿	4
協議議事録	6
第4回流通委員会	8
全国構改専門委・推進強化会議	10
協会の活動	14
登録制度と管理技術者試験制度	16
問題点の認識と提案	19
短歌、石垣島にて	20
可発ステッカー(非会員用)の取扱いについて	21
お知らせ・報告	22
地区だより	24
協会支部名簿・組織図	36
編集後記	38

又、構造改善計画に注目させる目玉として最も期待された、低利高度化資金の導入について残念ながら重要項目に於いて適用外となり活用出来なかった。そこで前述した税制・融資面に於ける助成措置を大きなメリットとして、強調すると共に、本部主導によるソフト面が先行して集約化を基調とする業界ぐるみの近代化促進が後手に回ってしまったのではないかと(反省第二)等、大いに自戒しているところでもあります。

この点関係官庁よりのご指摘もあり、本年度からは集約化・協業化等ハード面を捕え、会員諸士の盛り上がる自助努力を背景に、一段の努力を傾注する方針でありますので、特段のご理解とご決断を賜りたく存じます。

目下、策定中の登録制度に係る管理技術者試験制度も近々、建設省に協会案を答申いたしますが、登録制度の目的は、賃貸業者登録名簿に登録することにより、業績内容を公示し、ユーザーの発注に便宜を与えると共に、企業の近代化を通じ建設機械器具賃貸業の活性化を図ることとあり、業界の社会的地位の向上に貢献することと誠に大であり、又、将来、登録申請代行業務等の事を考え合わせると当協会の果たす役割は極めて重要であります。

更に、厚生年金基金制度であります。構造改善事業の一環として従業員の福祉向上により、若年有能社員の確保と定着性を企む目的のご理解を得て、昭和61年9月末現在の加入者数は約6,000名となりました。最終目標は、約10,000名でありますので、スケールメリットを得るためには残る4,000名につき、会員各位のご理解と堅実な経営手腕の発揮により、当初よりの目標を達成し計画の実現を図るべく奮って加入促進の程、お願い申し上げます。

又、適正なるレンタル料金確立のための調査・研究等、流通委員会も、今後、全国九地建ブロッ

ク毎に実施される他、各委員会の事業活動も愈々、活発になりますので、兼ねてお願いの通り、各担当委員におかれては、積極的な参加により、変わらなきご支援を重ねてお願い申し上げます。

尚、本部事務局よりの依頼文書・或いは調査報告書等は、確実に期限までに、作成の上提出して下さい。

以上(社)全建リース協加盟会員が近代化促進の好機を生かし、厳しい環境にありながらも、堅実なる発展のため種々の障害を排除し、団結して初期の目的達成に向かって健闘されることを、心より切望致します。

伊藤前副会長に 大臣表彰

(社)全建リース協前副会長伊藤鉄雄(相談役)氏は7月10日建設省において江藤建設大臣より表彰を受けられた。氏は昭和43年㈱大鉄を設立当初より建設機械器具賃貸業を営み現在に至っているが、早くより協会活動の重要性を深く認識され、挺身業界の活性化に尽され、今回の表彰も、その長年にわたる功労のよるものであり、先年(昭和59年度)の山内前会長に次ぐ受表彰者となった。



第13回定期総会開催



日 時 昭和61年5月29日 PM1:30~3:30

場 所 池之端文化センター(橘の間)

出席者 739名(出席45名、委任状694名)

(3月末会員数975名)

議 事

1. 総会成立報告 松田専務理事
2. 開会の辞 阿部副会長
3. 会長のあいさつ 坂井会長
4. 議長選任及びあいさつ 野口副会長
5. 議事録署名人の指名
指名・署名人松尾・酒井常任理事
6. 議案及び報告事項
 - (1) 昭和60年度事業報告承認の件
松田専務理事
 - (2) 昭和60年度収支決算書承認の件
(監査報告)
大島財務小委員長(太斎監事)

(3) 役員改選の件(新役員挨拶)

代表坂井会長

(4) 昭和61年度事業計画案承認の件

松田専務理事

(5) 昭和61年度収支予算案承認の件

大島財務小委員長

(6) 第37回理事会開催地について

松田専務理事

(7) その他

上程された議事については、滞りなく可決承認された。

感謝状及び記念品贈呈

(可搬形発電機整備技術者講習会制度に係る功労者31名及び3社)

来賓祝辞

閉会の辞

中村副会長

本総会来賓として、当協会顧問・参議院議員・

井上孝先生をはじめ建設省・建設経済局建設機械課・本田課長、建設振興課・青木専門官、通商産業省・資源エネルギー庁・公益事業部・技術課・嶋田班長、及び関係諸団体の方々よりお祝辞とほげましのお言葉を賜った。

なお、今年度の事業計画は構造改善事業5ヶ年計画の3年目を迎え、同事業を強力に推進すると

共に、各委員会において、①特別償却、耐用年数短縮等の税制及び金融対策等の研究、②可発整備技術者講習会開催、③取引関係の改善（標準的契約約款、積算資料等の作成）、④人材養成事業、⑤大手参入対策（対象企業調査、問題地域現場調査）、⑥登録制に関する調査研究、⑦厚生年金基金設立準備などを推進する。

61年度各委員長・副委員長名簿

	委員会名称	委員長	副委員長
通 常 委 員 会	総務委員会	小俣 実	原 幸男 小林 鈴夫
	" 財務小委員会	酒井 忠晴	染谷 和良
	" 税制 "	橋本 和夫	水野 健治
	" 渉外 "	松尾 茂	松井 重雄
	企画委員会	深尾 弘美	藤原 卓士
	調査委員会	中村 憲	高屋 浩志
	広報委員会	三瓶 徳司	高野 義雄 大坪 安治
	福利厚生委員会	野口 誠輔	町田 宗治 荒巻 信次
	教育指導委員会	片桐 理	田中 萬一 小林 定之
	流通委員会	石井 毅	奥田 実 高橋 弘一 吉川 義孝
特 別 委 員 会	構造改善専門委員会	志茂 法人	中野 勇
	可発委員会	福山 勝	三瓶 徳司 伊藤 武治 玉井 武治
	大手参入対策委員会	佐川 重徳	末田 芳晴 加地 武弘
	登録内容検討委員会	阿部 喜平	長井三佐夫 菅野 剛
	厚生年金基金準備委員会	坂井 熙	副会長全員



社団法人 全国建設機械器具リース業協会役員名簿 (昭和61年度)

理 事					
役職	氏 名	会 社 名	電 話	〒	会 社 所 在 地
会 長	坂 井 熙	大 和 機 工 機	052(582)5131	450	愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-21
副会長	阿 部 喜 平	青 葉 商 工 機	0222(58)0511	983	宮城県仙台市福室字高砂駅東16
"	中 村 憲	機 中 村 商 店	045(321)1641	220	神奈川県横浜市西区平沼1-2-23
"	小 俣 實	機 オ マ タ 士 鐵 機 商 会	03(400)2591	150	東京都渋谷区東3-21-13
"	野 口 誠 輔	富 野 機 工 機	0849(53)3033	721	広島県福山市曙町3-200-2
"	片 桐 理	片 桐 機 械 機	011(261)0256	060	札幌市中央区南1条東3丁目
"	佐 川 重 徳	機 三 和	06(551)0024	551	大阪府大阪市三軒家西3-8-16
専務理事	松 田 寛 司	(社)全建リース協事務局	03(293)7273-4	101	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟ビル4F
常務理事	木 村 春 樹	"	"	"	"
常任理事	三 瓶 徳 司	三 瓶 重 機 車 輛 機	03(938)7200	175	東京都板橋区新河岸2-9-5
"	福 山 勝	双 葉 リ ー ス 機	03(679)1236	133	" 江戸川区篠崎町6-8-1
"	志 茂 法 人	松 榮 重 機 機	03(551)6049	104	" 中央区新富2-13-7
"	酒 井 忠 晴	鶴 島 建 機 機	03(692)5210	124	" 葛飾区東新小岩3-11-1
"	松 尾 茂	関東フォークリフトサービス機	03(899)3971	121	" 足立区入谷7-22-10
"	橋 本 和 夫	橋 本 リ ー ス 機	045(891)6990	247	神奈川県横浜市戸塚区元大橋2-38-17
"	石 井 毅	石 井 機 械 産 業 機	06(308)0481	532	大阪府大阪市淀川区加島4-14-27
"	深 尾 弘 美	西日本鉄道機建機営業部	092(631)1331	812	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124
"	原 幸 男	機 原 鉄	0265(24)1201	395	長野県飯田市大門町26
"	中 野 勇	山 中 産 業 機	0222(94)7231	983	仙台市扇町三丁目4-23
理 事	伊 藤 武 史	北 海 産 業 機	0144(55)5500	059-13	苫小牧市沼の端 228-41
"	高 橋 弘 一	機 高 重 組	0177(41)6531	030	青森県青森市港町1-7-1
"	菅 野 剛	柳 氏 家 重 機 建 設	0245(45)3131	960	福島県福島市郷野目字師々田2-1
"	高 屋 浩 志	高 榮 リ ー ス 機	0272(33)0522	371	前橋市上小出町 755-8
"	染 谷 和 良	三 委 自 動 車 機	0298(31)1261	315	茨城県新治郡千代田村上稻吉2044
"	松 井 重 雄	大 興 リ ー ス 機	0534(63)8821	435	静岡県浜松市上西町865
"	奥 田 實	大 機 リ ー ス 機	0584(74)3131	503	岐阜県大垣市神田町1丁目25
"	高 野 義 雄	柳 高 野 工 会	0674(25)6666	930	富山県富山市今泉348
"	吉 川 義 孝	機 吉 川 土 木 機 械 製 作 所	0762(62)4585	920	石川県金沢市北安江町 205-3
"	水 野 健 治	機 武 生 リ ー ス	0778(24)3633	915	福井県武生市家久町96-18-1
"	長 井 三 佐 夫	建 機 サ ー ビ ス 機	06(572)7760	552	大阪市港区福崎町二丁目1-62
"	末 田 芳 晴	湊 川 産 業 機	078(651)5577	652	神戸市兵庫区芦原通二丁目2-23
"	藤 原 卓 士	富 士 リ ー ス 機	0862(82)4101	701-02	岡山県岡山市古新田1570-1
"	田 中 萬 一	機 田 中 鉄 工	0878(41)2105	761-01	高松市春日町 795
"	加 治 武 弘	柳 カ ネ イ チ	0992(61)7676	891-01	鹿児島市七ツ島市1丁目1-13
"	町 田 宗 次	町 田 機 工 機	0988(95)5803	901-24	沖縄県中頭郡中城村字久場1991
監 事					
監 事	大 畠 公 夫	ツ ク バ 建 機 機	03(895)1727	116	東京都荒川区町屋8-22-8
"	筒 本 敏 男	機 近 藤 建 機	0798(53)0531	665	兵庫県宝塚市仁川北2-1-17
"	山 本 高 義	光 立 機 工 機	082(237)2581	733	広島市大宮二丁目3-15

協会議事録

第36回理事会

日時 昭和61年5月29日 AM11:00～
PM 1:30

場所 池之端文化センター会議室

出席者 理事34名、監事3名、計37名中、
本人出席21名、代理出席6名、委任状
10名

議事

- (1) 理事会成立報告
- (2) 開会の辞
- (3) 会長挨拶
- (4) 議長選出
- (5) 議案審議

- ① 昭和60年度事業報告承認の件
- ② 昭和60年度収支決算承認の件
- ③ 役員改選の件
- ④ 昭和61年度事業計画(案)承認の件
- ⑤ 昭和61年度収支予算(案)承認の件
- ⑥ 第37回理事会開催地について
- ⑦ その他

定款変更について

会員除名について

報告事項

- ① ニュージーランド、ハイヤーサービス
の来協について

来賓祝辞

建設省建設機械課 課長 本田宜夫氏

臨時理事会

開催日時 昭和61年6月13日 AM11:00～
PM 5:00

場所 全建リース業協会 会議室

出席者 理事35名、監事3名、計38名中
本人出席21名、代理出席3名

議事

1. 各委員会の委員長、副委員長の決定
2. 参与の指名・決定
3. 報告事項
 - ① 厚生年金基金制度の経過について
 - ② 九動除名について
 - ③ 大手参入について
 - ④ 事務局長会議について
 - ⑤ 第37回理事会について
 - ⑥ 構造改善事業(割増償却)について
 - ⑦ 講演会資料について(国際エコノミスト、
長谷川慶太郎氏)

第37回理事会

日時 昭和61年10月23日 PM2:00～5:30

場所 下呂温泉・水明館

出席者 理事35名、幹事3名、計38名中
本人出席24名、代理出席7名、委任状
7名

(式次第)

開会の辞

挨拶

成立報告

司会 桑原事務局長

阿部副会長

坂井会長

松田専務理事

議長選出及び挨拶

坂井会長

事業報告と審議事項

1. 構造改善専門委員会(坂井会長・志茂委員長
・中野副委員長)

構造改善の経過概要と今後の対応について

2. 流通委員会(石井委員長・奥田副委員長)

- ① ブロック(9)会議制度と東北ブロック会議報
告

- ② レンタル適正料金確保のための算定方式の
統一化

- ③ 支部正会員加入基準制定について

会員大手業者における各出先営業所に対し、
各支部に加盟義務付の規定化を計ることを討
議したが、時期尚早として決論を得ず引続き
検討事項とした。

3. 大手参入対策委員会(佐川委員長)

流通委員会と共通するところ多く今後流通委
員会と密接な連繫を保ち共同歩調を採って運営
を図る。

4. 可発委員会(三瓶副委員長)

- ① 昭和61年度可発講習会実施報告
(受講者411名中 合格者397名)

- ② 非会員ステッカーの取扱いについて
(別項21～22頁参照)

5. 登録内容検討委員会(阿部委員長・(代))

登録申請に要する資格要件としての管理技術
者を育成する制度が検討され、目下講習会、試
験等につき策定中。

6. 厚生年金基金制度委員会(松田専務理事)

- ① 加入状況経過報告

10月20日現在、加入271企業(5,642
名)、加入確約38企業(971名)、合計
加入309企業(6,613名)であるが当面
の目標1万名の加入を達成し62年4月設定
予定。

7. 総務委員会(小俣委員長・(代))

- ① 軽仮設協会入会について
- ② 就業規則の改正について
- ③ 事務局職員の表彰について
- ④ 次年度理事会開催地について
8. 財務小委員会(酒井委員長・(代))
 - ① 61年度上半期決算報告
 - ② 61年度可発講習会収支報告
9. 渉外小委員会(松尾委員長)

建専協の活動と陳情・請願について
10. 企画委員会(深尾委員長)

事業計画について、他
11. 調査委員会(高尾副委員長)
 - ① A I U 団体損害保険(60年度)報告
 - ② アウトサイダー調査結果報告
12. 広報委員会(三瓶委員長)
 - ① 会報発行について
 - ② 会員名簿追録(新加入会員・補正版)発行
について
 - ③ 可発技術者名簿発行について
13. 教育指導委員会(片桐委員長)

講習会等にかかる能力開発給付金制度につ
いて他
14. 福利・厚生委員会(野口委員長)

議案1～14に付、各々報告と質議が行われ1
部の継続検討(2-③)を除き、合意諒承した。
最後に表彰(退任役員)及び次回開催地を来秋
群馬県伊香保に決定し、閉会(閉会の辞 片桐副
会長)、引き続いて6時より懇親会が盛大に行れた。
翌24日は懇親ゴルフ会と小観光に分かれ、小
観光組は日本ライン下りと明治村を見学、名古屋
駅に午後3時過ぎ到着解散、ゴルフ組は日本ライ
ンC・Cに。地元の吉川土木機械の前田名古屋営
業所長が優勝、2位・玉井武治(京浜特殊機工)、
3位・武部守秀(武部機械リース)、4位・赤坂
光一郎(産業機械新聞)、5位・三瓶徳治(三瓶
重機車輻)の各氏。

第4回流通委員会(東北ブロック会議)

第13回定期総会における役員改選に伴い、流通委員会の新役員(委員長、副委員長)による小委員会(9月16日)が開催され、新方針としては、流通委員会は9地方建設局所在地を中心とした地域ブロック合同会議で行うこと等、決め、あらかじめ計画されていた東北ブロック会議にのぞみ下記要項に基づき熱心に審議された。

記

日時 昭和61年9月26日 PM13:30～

17:30

会場 宮城第一ホテル会議室

出席者

(本部) 石井流通委員長、奥田・川村副委員長
松田専務理事

(青森) ぼくとう、青森リース、中山工具販売

(秋田) 斉勇物産、コントラマックスサービス、
大曲産業機械、秋田中央機工

(宮城) 青葉商工、山中産業、セントラル機工、
西尾レントオール、鈴孝建機リース、
ユナイテリース、小野リース、三盛電
工(その他オブザーバー7社)

(山形) 出羽リース

(福島) 氏家重機建設、福新リース、後藤機械
会議次第

1. 開会の辞 阿部副会長(宮城会長)
2. 挨拶 石井流通委員長
3. 一般報告(昭和61年度事業計画の現況と今後の課題について) 松田専務理事
 - (1) 構造改善計画全般
 - (2) 登録制度と管理技術者について
 - (3) その他
4. 経過報告(東北ブロックにおける実勢価格の調査研究と推移について)

徳田(宮城)流通委員長

5. 審議事項(委員会運営に係る基本的要件について) 奥田流通副委員長

(1) 流通委員会運営について

- ① 流通委員会の開催地を建設省九地建の所在地とする。
- ② 流通委員会は九地建、地域のブロック合同会議を通常とし、全国合同会議は必要に応じて開催する。
- ③ 流通委員会(ブロック合同会議)には、九地建より各担当官の出向を得ることとする

理由①賃貸料金及び取引条件等につき、地域の実態に即し、共通的效果の向上を図る。

②平常時から建設省各地方建設局と、密接な連携を保ち、災害発生時に必要な建設機械器具を円滑に提供し、復旧作業が速やかに実施できるよう協力する。

③各地方建設局との交流を通じ、建設機械器具賃貸業中小企業近代化計画に示された各事項達成に関し適切な行政指導を受ける体制を作る。

④各地方建設局管轄下における建設業団体との交流を図り地元建設業者に對し我が業界の実態の理解を得るとともに地域社会における業界の地位向上を図る。

(2) 賃貸料について

- ① 建設機械等損料算定表59年度改訂版による算定式に基づくものとするが、年間供用日数は各支部ブロックの実状

に即した稼働を調査の上、平均をとらえた数値とする。

② 会員中の大手賃貸業者の各出先営業所に対し本部において各出先の所属する各支部に加盟を義務づける規定化を計る。

(3) その他

ブロック制流通委員会は第1回を東北ブロック会議とし、第2回ブロック会議(流通委員会)は、中部ブロック会議とする。

(4) 東北ブロック対策について(秋田地域対策を含む) 徳田(宮城)流通委員長

(1)(2)(3)項目に関し審議の結果全員合意した。

従って本案を提案事項として、第37回理事会上に上程する事を申し合せた。(4)項目の秋田リース業協会を全建リース協に受入れるための東北ブロック体制案(秋田協会の要望)に関しては青森、福島支部他に異議があり、見送りとなった。(議事終了)

6. 閉会の辞

中野(宮城)副会長

会議後別室において出席者一同による懇親会が開催され隔意のない意見交換と共に親睦の輪が広げられ午後8時過ぎ有意義に終了した。



arimitsu

近代土木工事作業の ハイパワー援軍。




グリーン(レイタンス)カット、岩盤洗浄、水圧テスト用



**用途は無限の
パワフル高圧洗浄機**

大小標準116種類に
余るバリエーションにと
んだ機種を描いています。

0.25～220kW
0～1,400kgf/cm²

あちこちの工事現場で見かける、この顔、このマーク

創業以来64年、さらに未来へ躍進する

有光工業株式会社

本社 大阪府東成区深江北2丁目3-21 ☎06(973)2020
 東京営業所 千代田区神田船場47番地 ☎03(254)0855
 名古屋営業所 名古屋市中川区助光3丁目170番地 ☎052(303)6688
 福岡営業所 福岡県宗野市上古賀278の1 ☎092(925)7696
 仙台営業所 仙台市福町4丁目14-14 ☎0222(59)4093
 営業所 札幌・大宮・松本

全国構造改善専門委員会 推進強化会議 要旨

中小企業近代促進に基づく構造改善5ヶ年計画も既に2ヶ年半を経過し丁度折返し地点を迎えるに当り、去る9月18～19日の両日に亘り標記強化会議が“ホテル・サンルート東京”に於て開催された。

当日は全国各支部より全委員が参加し、来賓として、建設省よりも建設振興課上原課長補佐及び渡辺係長が出席され、下記の通り熱心を討議が行われ、最終的に協会の総力を挙げ、集約化事業達成に取組む決意を固めた。

記

〔第1日目〕

(挨拶) 坂井会長

当協会も当初の加盟会員700社余で発足したが、現在1,000社を超え、構造改善計画も愈々正念場を迎えている。長期の厳しい経済情勢が続いたが、円高基調を受けて、内需拡大への期待は大きく公共投資他3兆6,000億が見込まれて建設産業界も若干好調に向いている様に受けとめている。

従って、この好機に人材の養成、資質の向上等企業の近代化に対し積極的に取組むべきだ。

構造改善5ヶ年計画の折返し地点に立って過去を省りみると、ソフト面では可成りの成果を挙げながらも、集約化等ハード面では当初の計画より著しく遅れている。

今回の強化会議は、この現実を見直して、問題点を探し、具体的な対策を樹てたい等の挨拶があった。続いて

上原課長補佐より

構造改善計画実施に当り、その中盤における強化会議の意義を評価されながらも、問題点として

下記を指摘された。

① 構造改善計画においてスタート時の既設協同組合数が少なく、目標年度の独立企業が約半数を占めているのは、そもそも計画当初から、構造改善事業に着手する「基盤醸成」に業界体制が整っていなかったことを示しているのではないかと。

② 税制上の助成措置である割増償却適用が他業種に比し異常に多い(リース業全体で約21億円、杭打(協)2億9,000万、その他団体1億円程度)いが、これは本来の協同組合事業化に取り組むことなく、個人の企業がバラバラにやっているのではないかと(しかも、優秀な企業群約10%程度のみが)、これ等のことについては、中小企業庁も気にしていると聞いている。

構造改善事業には、多数の企業参加が必要である。例えば補修点検事業の集約化、修理工場等を如何に成功させるかが課題で、それには協同組合の組織化が重点となる。

このことは既に昭和60年10月の「サービス業関係組合懇談会」でも示されているところ。それにもかかわらず、①で指摘したが現在までのところ共同組合の組織化がうまく進まないのは何故か。

③ リース業として組織化を拒む特別の理由、又は固有の性格があるのか。

④ 集約化がなくとも、リース業の将来、企業の安定と繁栄に差支えないのか。
等につき官側として会員各位の卒直な生の声を聞きたい。

次いで志茂委員長及び中野副委員長より本会議に望む挨拶があり各支部委員による現況報告(下

記要約)に移った。

各支部の現況報告

北海道 技術講習会・経営者講習会・新入社員講習会等を実施している。北海道という特殊性もあり、協業化は進んでいない。業務提携については研究して早急に進めたい。

福島 地域格差・企業格差もあり、ハード面についてはおこなわれている。ソフト面については比較的よく行なっている。可成りについては全国に先駆けて実技講習会を実施した。経営者の安全講習会を11月に実施する。流通問題については価格等の問題について話し合っている。

青森 専門業者が少なく、協業化はむずかしいが、相互利用等は実施しているので業務提携を進めている。価格等の問題については、話し合いを進めている。

東京 協業化・集約化については、形には出ていないが、実施しているので、今後は積極的に進めていく。

富山 18社、若手経営者において前向きに検討している。他支部・組合を参考にして、積極的に進めていく。

静岡 協業化については、あまり進んでいないが、相互利用・経営の強化・ダンピングの防止については、積極的に対応している。

群馬 支部発足が59年であり、会員同志の親睦を高めることが先決となっている。講習会・安全教育等を実施しており、これを期として協業化について推進していきたい。

茨城 相互利用は実施されているので、形として成すよう進めたい。協同組合もあるが、協調して進めるのはなかなか難しい問題もある。

長野 長野の場合、地理的に北と南では経済差も異なり、4つのブロックに分けている。人材育成・安全講習・厚生年金等・企業の資質向上に努力している。協業化については、4つのプロ

ック毎で検討していく。共同購入・協同販売等についても検討していきたい。

神奈川 会員73社、1協同組合(会員10社)が出来ています。組合としては、修理工場・ストックヤード等の確保を検討している。経営の合理化・人材の育成には積極的に取り組んでいる。講習会等は、希望の多い職種を研究していきたい。災害等に対処するための、緊急支援体制について県側と打ち合わせを進めている。構改については初心にかえり進める。

中部 協同組合は設立されている。組合員15社。研修センター・ストックヤードの確保を進めている。今後は協同受注の方向で研究していきたい。

石川 48年に17社で協会を設立した。ソフト面については価格の調整を図っている。ハード面については今後どうすべきか検討していきたい。業務提携を具体的に推進していく。

四国 四国地区は、アウトサイダーが非常に多い。経営管理者講習、メーカー見学会、情報の収集・提供、約款の確立、厚生年金基金については、現在も積極的に実施している。共同利用・集約化については企業格差もあり難しい点も多い。九州 現在会員103社、20周年を迎えた。長崎地区で組合結成を図っているが現在保留中である。業務提携は進めている。特に福岡県にあつては具体化している。

(説明)近代化促進法等につき木村常務理事より説明

1. 近促法にかかわる逐条について(資料-1)
2. 全体計画について(資料-2)
3. 報告と承認について(資料-3)
4. 調査表について

構造改善事業の年次計画を取りまとめるための、調査表に付各会員からの提示がスムーズに行われていない、一社でも多く参加されて効果的調査を

得るための手段につき、検討した処下記の問題点が提起されたので更に研究し記入しやすい調査表を作ること等を申し合せた。

調査表記入不備のため

1. 取り纏めの作業が大変である。
2. 調査表の提出が遅い。
3. 調査表の内容が難しい、みただけでいやになる。
4. 企業内容が知られたい。
5. 近促法と切り離して、モデルを作成してみたらどうか。
6. 会社の経営管理形態が悪くて出せない。
7. 構造改善の本質を知らないのではないか。
8. 財務管理が適切に行なわれていないのではないか。

〔第2日目〕

(報告)協同組合の現況と業務提携等の推進状況につき8支部委員より下記の通り順次報告された。

九州・福岡県37社のうち25社の賛同を得て、県総合指導所の指導を受け、個別診断を受けその結果20社がOKとなったが、20項目にわたる勧告をうけた。主な内容としては、

1. 同一機種の保有が多い。
2. 他機種の保有の転換を図る。
3. 集約化(2ヶ台企業集約化が望ましい、企業合併でも可)

というものであった。

・長崎で6社(共同受注を含む)組合化がはかられたが県からの指導があり保留となっている。
・9月9日に業務提携8社で結成された(福岡地区)

富山・会員は6年目で18社となっている(県外3社)適用業者は15社です。

・10社により団体損害保険に加入(120名)これの割り戻しが年間約120万円程あり、活

動資金の少ない支部協会としてはこの保険制度は有効に働いている。

・地域性から10~12月の3カ月が勝負月です。平均稼働率は50%を切っている。機械の保有と稼働率がアンバランスである。構改のメリットについてはまだ模索中であり、会員の合意を得ていない。

大阪(資料) 組合員の加入については、内規を作成して、これにより入会をして頂くことにしている。

中部(資料) 資料により概要説明あり。

- ・共同購入・共同利用の推進
- ・事業収入の80%は賦課金収入による。(1社の出資金500,000円)
- ・今後は共同受注の方向で研究していきたい。
- ・組合の増加資質の向上をはかる。

福井(資料) 現状組合の運営には苦勞も多い。新たに組合を結成するには最初からメリットのみを求めるのではなく会員相互の十分な理解と積極的に取り組む意欲・雰囲気作りが大切である。又、県の土木部・商会労働部・中央会とよく相談し熱意を持ってあたることが大切である。自助努力によってメリットは、自然に生まれるのではない。当組合としては、よりうまくいくよう、活路を見出し構改に取り組んでいきたい。

福山(資料) 広島県東部の福山を中心とした16社により組合を結成した。
事業内容は、・共同購入・共同施設の利用・教育・福祉・資金調達

(出資金は1社250万×6社1,500万円)
組合設立には6ヶ月位で話がまとまった。組合設立にあたっては、自己の資産内容を曝け出し隠し事のないようにすることが大切である。これによって、調査報告を出さないということもなくなるのではない。

神奈川・八日会(資料) 10社により自然発生

的に結成し、毎月8日に会合を開いている。

兵庫 県の中央会の指導により、ガラス張りで発足し運営している。現在は、組合の運営費を如何に稼ぎ出すかが問題となっている。

質疑応答

九州 集約化をはかる上で、業界診断を受けたが指導内容が非常に厳しい。業務提携にせよ、協業化にせよ、合理的な機械の運用方法を研究しないと、うまく管理することは難しいのではない。

富山 現存の組合を参考にすべく見学させてもらったが、自分の意図するのと多少異なっていた。中部 現在、幹旋手数料を1%頂いているが将来はもっと増し、事業収入の一助にしたい。(3%程度にアップ)

福井 共同受注について組合は、事業活動をする為のものであるから、大きなプロジェクトに対しては、共同受注をする為に、種々手段を講じていきたい。例えば、建設業者に対する営業対策の一環として、県の担当官のアドバイスを得るとか。

神奈川 会員相互の利用については、組合としては手数料は一切取っていない。但し、消耗品等の幹旋については2%の手数料を貰っている。

茨城 組合員相互間についての価格の設立はよいのか、又設定についての条件はどうかとの意見が出た。

助成措置について、資料により木村常務より

1. 割増償却を実施する企業は、今後業務提携等を実施して頂きたい。
2. 業務提携をした場合、本部に連絡してもらいたい。

等説明があったが、業務提携は、割増償却の有無に拘らず、協業化の一環として取り上げられるべき等の意見があり合意された。他の助成措置について、メリットのある実績として神奈川では県

から500万円(公共工事事業機械取得)の補助を受けた。これは無償の補助金である。又、建設省渡辺係長より、メリットのある他の助成措置も、もっとあると思うので研究してほしい。(組合として、高度化資金の活用等。)

以上2日間に亘り白熱的な報告、質疑応答等熱気溢る意見が交された後、これに対し上原補佐より講評(下記)があった。

(講評) 上原課長補佐

2日間熱心な討議を今後の構改に今生かして下さい。

協会の現状について、

・ソフト面(知識の集約化事業)については順調に進んでいる様に見えるが、ハード面(企業集約化事業)はなかなかむづかしく遅れている様子がよく判った。

・各支部の集約化について苦勞している点としては

何の為に組合を作るのか、何一つうまくいかないのかについて明確な答えが出せない。現在の組合でも労多くして益少ない。また何をどうやれば良いか、完成後の姿はどんなものを模索中の組合もある。業務提携までは何とかいけるが→組合化までは難しい。

等々の意見が出たが、本音が出たことは大変有意義だったと思う。

今後、構改推進にあたっては、

・生き残っていく為には、自助努力しかない。現在食べられるから良しとするのではなく将来に対して如何に対処すべきかが問題である。そのためには共同組合の組織化等を推進する必要があるが、それが何故うまくいかないのか(既組合は、うまくいっているか)→何のために、何故、組合を作るのか、をもう一度考え直してみることである。

以上の事項を十分認識し会員相互で検討・審議し

推進して行くべきだと思う。その方法論としては、中央会等を利用するとか、説明会等を開き十分検討することが必要である。議論のみでは駄目である。紙に書いて理解してもらい、デジタル化文章化することが大切である。福井等現場の意見は大変参考になりました。この2日間で感じた会長はじめ本部・支部のみなさんの構改に対する情報をもって、是非成功させてほしい。

(挨拶)閉会の辞

坂井会長

2日間熱心な討議・本音の意見もあり、有意義でありました。構改推進にあたっては、企業の近代化・集約化は何故必要なのか、いろいろ問題に突き当たるとは思いますが、困難は発展につながることであり、積極的に取り組んで下さい。合理化の推進・資質の向上・サービスの向上は偏に我々企業の、そして更に協会の発展につながることで

以上

協会の活動

昭和61年5月～9月

5. 6. 可発委員会開催(新電気機による可発通牒研修会他)
- 7 登録制度, 新旧委員会(引継業務)開催
- " 内需拡大懇談会(自由民主党と建設業界)に松田専務理事他出席
- 9 通産省(内発協通牒解説書検討会)に桑原事務局長出席
- " 東京通産局(新電気機可発通牒研修会の件)に松田専務理事訪問
- 14 可発委員会(技術専門部会)開催
- 16 自由民主党と建専協(建設専門工事関連業33団体)との懇談会に松田専務理事出席
- " (社)日本建設機械化協会定期総会に木村常務理事出席
- 20 建設省, 通産省, 労働省, 他諸団体を訪問(新事務局長挨拶)松田専務理事, 桑原事務局長
- 21 中小企業庁, 事業団, 金融公庫, 国金他訪問(新事務局長挨拶)松田専務理事, 桑原事務局長
- " 茨城支部定期総会に木村常務理事出席
- 22 古賀顧問の大臣就任祝賀会(於ホテルニューオータニ)に坂井会長以下出席
- 26～27 可発整備技術者講習会開催(東北ブロック受講者49名 於仙台市内)
- 28 新東京建設機械リース業協会定期総会に坂井会長他出席

- 29 第36回理事会及び第13回定期総会開催(於池之端文化センター)
6. 2 内発協, 全国クレーン建協, 土工協他を訪問(新事務局長挨拶)松田専務理事, 桑原事務局長
- 6 厚生年金基金制度受託者会議開催
- 7 建設省機械課関本補佐訪問(伊藤相談役建設大臣表彰の件)松田専務理事
- 9～10 可発整備技術者講習会開催(関東ブロック受講者134名 於東京都内)
- 11 管理技術者試験制度委員会開催
- " 九州支部創立20周年記念行事に木村常務理事出席
- 12 建専協構造改善推進協議会(於建設振興基金)に松田専務理事出席
- 13 臨時理事会開催
- 17 全国地質調査業連合会訪問(建専協運営問題)松田専務理事, 桑原事務局長
- 19～20 可発整備技術者講習会開催(中部・北陸ブロック受講者48名 於名古屋市内)
- 25 財務小委員会引継ぎのため新旧委員長(酒井常任理事, 大島監事)来協
- 26～27 可発整備技術者講習会開催(北海道ブロック受講者36名 於札幌市内)
- 27 沖縄地区情報報告のため町田理事来協

- 30 管理技術者小委員会開催(講習会用テキスト作製について)全建リース協委員来協
7. 4 建設省訪問(理事増員の件)松田専務理事
成城大学法学部教授来協(管理技術者の件打合のため)
- 7 建専協事務局訪問, 松田専務理事
- 8 厚生年金基金制度受託者会議開催
- 9 第2回管理技術者試験制度委員会開催
- 10 全国事務局長会議(於全建リース協会議室)開催
- 11 酒井財務小委員長来協(経理打合)
- 14 通産省(可発運用について)に松田専務理事訪問
- 16～17 可発整備技術者講習会開催(近畿ブロック受講者41名 於大阪市内)
- 18 構造改善小委員会開催(志茂, 中野常任理事他オブザーバーとして建設省より担当官出席)
- " 建専協総会に松田専務理事, 桑原事務局長出席
- 22～23 可発整備技術者講習会開催(中国ブロック受講者67名 於岡山市内)
- 25 建設省(業務報告書類提出)松田専務理事他訪問
- 26 可発委員会
- 28 中小企業近代化促進団体協議会総会に松田専務理事出席
管理技術者試験制度新田委員打合のため来協
- 29～30 可発整備技術者講習会開催(九州ブロック受講者44名 於福岡市内)
8. 1 建専協幹部会に桑原事務局長出席
- 5 厚生年金基金制度受託者会議開催
建専協事務局局長会議に松田専務理事, 桑原事務局長出席
- 11 第3回管理技術者試験制度委員会開催
- 12 通産省, 可発担当技官, 現地調査(於関東地域)
- 18 厚生年金基金制度に係る総幹事会社との打合(於全建リース協)
- 19 建設省訪問(業務全般報告書等)松田専務理事他
- 22 酒井財務小委員長来協(経理打合)
- 28 厚生年金基金総幹事会社(明治生命)訪問, 坂井会長, 松田専務理事
- " 総務, 調査, 合同委員会(AIU賠償保険について)開催
9. 2 建設省訪問(協会運営について)坂井会長, 松田専務理事

- 深尾九州支部長来協(企画委員会等)打合せ
- 3 厚生年金基金制度受託者(個別)会議開催
- 4 管理技術者小委員会開催(テキスト作製について)全建リース協委員出席
- 5 中小企業近代化促進団体協議会シンポジウム委員会に松田専務理事出席
- 9 北海道支部定例会及び伊藤相談役建設大臣表彰記念祝賀会に松田専務理事出席
- 10 建専協幹事会に木村常務理事, 桑原事務局長出席
- 11 建設産業近代化促進協議会(建近協)発会式に松田専務理事, 桑原事務局長出席
- 12 建専協定例懇談会に坂井会長, 松田専務理事出席
- 16 流通小委員会開催(基本的対策打合せ), 石井委員長, 奥田副委員長他来協
- 18～19 全国構造改善専門委員会強化会議開催(建設省より上原補佐, 外ご出席)
- 19 厚生年金基金制度受託者会議開催
- 22 東京支部トンネル機械部会に, 松田専務理事出席
- 24 管理技術者試験制度小委員会開催(テキスト作製打合)全建リース協委員出席
- 25 厚生年金基金制度総幹事会社との打合
- 26 流通委員会(東北ブロック会議 於仙台市内)開催
本部より石井委員長, 奥田・川村副委員長, 松田専務理事出席
- (社)全国クレーン建設業協会厚生年金基金制度発足祝賀会に坂井会長他出席
- 27 宮城支部事務局に於て事業計画に関し打合せ(松田専務理事)
- 29 (社)日本建設機械化協会リースレンタル部会に出席, メーカー側委員と現状と問題点等につき懇談(松田専務理事)
- 30 (社)日本空調協会故高須前会長葬儀に参列(桑原事務局長)
成城大学庄教授来協, 管理技術者テキストの件にて打合せ

教科科目の内容

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 技 術 管 理 | 3. 管理及び関係法規 |
| 機械施工の基礎知識 | 関係法規について |
| 建設機械損料の算定の要点 | (労基法・安衛法・建設業法・道路法・道交法) |
| 2. 経 営 管 理 | (公害対規法・騒規法・振動規法・電気事業法) |
| 建設機械賃貸業の実態について | 災 害事例について |
| 経営改善の為の諸制度について | 4. その他 |
| レンタル標準契約について | 以 上 |
| 財務分析について | |

管理技術者試験制度創設検討委員会

氏 名	所 在 及 び 役 職 名	所 在 地	T E L
庄 正 志	成城大学法学部 教授	〒157 東京都世田谷区成城 6-1-20	03-482-1181
青 木 東 雄	建設省建設経済局建設振興課 建設専門官	〒100 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3	03-580-4311
松 田 一 郎	" " " 金融専門官	〒100 "	"
上 原 将 孝	" " " 課長補佐	〒100 "	"
鳥 巢 英 司	" " " 企画係長	〒100 "	"
中 井 登	" " 建設機械課 直轄係長	〒100 "	"
平 田 成	鹿島建設株式会社 機械部専門部長	〒107 東京都港区元赤坂 1-2-7	03-475-9280
宮 原 堅	大成建設株式会社 機械部指導担当部長	〒160-91 東京都新宿区西新宿 1-25-1	03-348-1111
岡 部 広 和	全建リース協 サコス株式会社 レンタル事業部長	〒108 東京都港区高輪 1-5-8	03-443-3281
新 田 四 郎	全建リース協 産業リーシング株式会社 常務取締役	〒101 東京都千代田区三崎町 1-3-12	03-295-7511
真 宅 康 博	全建リース協 真弥機業株式会社 代表取締役	〒101 東京都千代田区神田和泉町 1-1	03-861-4457
繁 田 貞 夫	全建リース協 勝伸成電機工業 常務取締役	〒133 東京都江戸川区篠崎町 6-142	03-670-1504

問題点の認識と提言

『二十一世紀への建設産業ビジョン』の中に、建設工事の機械化と機械そのものも益々高度化されて行く事が記されているが、その機械運用の裏方を努めているのが我々リース・レンタル業者と言っても過言ではなく、建設産業界に於いてリース・レンタル志向が定着したことは喜ぶべきことながら、翻って足元を見ると、何故か先行きの不安が湧いてくるという。何が原因なのか、其の問題点を追ってみる。

リース・レンタル業者とメーカーの関係は、切っても切れない間柄で大なり小なり相互に助け補い乍ら、今日の成長に及んできた実績については、誰も否定はしない。事実、構造改善事業に於ける機械購入資金計画を見ても、昭和59年度の政府系融資が全体の約30%を予定されたが結果は8%強にとどまり、機械購入資金の大半は、メーカー及び商社等の肩代わりとなり、今更ながら両者の絆の深さを確認すると同時に、業界の近代化に対する貢献度について高く評価しながらも、一方での両者の不協和音は、一体何であるのか。

今、メーカーは長期に亘る公共投資の実質的低下による、過剰在庫・過当競争・乱販(極端な値引等)赤字体質などで苦悩しているが、建機レンタル業界も、同じく、業者の乱立・レンタル料金の低下・機械購入の負担増・資金繰りの悪化等、厳しい状況下であり、その上、メーカー商社等による業界参入問題が一層輪をかけてレンタル業界の上ののしかかり、「昨日の友は今日の敵」と共存共栄の場合は今やサバイバル(生き残り)を理由として企業エゴ(エゴイズム)と、モラルの低下により、お互いに足を引っ張り合う修羅場と化し、

共倒れの可能性を秘めた憂いべき悪循環が現出されようとしている。

建設業に於ける生産性の低下は保守的体質によるものと言われているが、一つには施工設備への過剰投資が原因と言われている。

機械の保有については、汎用機を中心にレンタル業界に大巾に委譲して救われているが未だ全体的には機械の保有は過剰気味で、稼働率は低下し、投資効率は次第に下向きとなっている。

建設業界も建機レンタル業界も共通の苦悩に喘ぎつつ、内需拡大政策3兆円の補正予算増額等を禱り待つも、自民党圧勝ながら、その財源の捻出はままならず現実は依然として厳しく新聞は公共投資5%減を報じ、マイナス基準が早々と伝えられる中で、圧倒的支持層の願望に対し、新内閣は如何に应えるか。

厳しい経済環境を背景にしながらも、豊かな生活実現への好機として内需拡大への道は避けて通れまい。国益を守るため内需拡大への道は必ず開かれるであろう。従って今こそ建設産業というトータルシステムの中で、元請、下請(関連業種)双方が対等の経済主体として、パートナーシップを確立し効果的な建設産業を担う仕組みを、声を大にして追求しなくてはなるまい。

それには、川上から川下、中を取り持つ川中(リースレンタル業者)が三位一体となって、機械の保有、及びその補完の仕組みを論じ合いバランスを求めて、建設産業全体としての投資効果を高める方策を樹て実行をすべき時ではなかろうか。

現在、建専協を窓口として、建設業と建設関連業界間のパイプはあるが、これを有機的な連絡協調体制確立への大道にするためには、相互間の

理解と努力が肝要である。

勿論それには官側の強力な指導が必須であるが、決定づけるものは団体の英知と団結の力である。

リースレンタル業者の力とは、まず業界団体組織率如何にある。全建リース協加盟会員の数の力であるが、その質が鳥合の衆であってはならない。同志愛に支えられた団結こそ、唯一無二の力となる。アウトローの時代ではない。小異を捨てて大同につけて、アウトサイダー等と呼びかけて、加入促進に努めるのもこの為である。全建リース協の加入会員数は昭和57年度は758社であったが、現在は1,000社を越えている。

目下策定中の厚生年金基金制度（企業格差の是正・社員の福祉の増進・若年有能社員の確保等）及び登録制度（企業の近代化と社会的地位の確立等）が愈々具体化すれば、組織率90%も夢ではあるまい。

社会的発言力の重みは、団体の規模と英知と強い団結によるものである。いやしくも会員相互間で信頼協調を失うならば、己れが墓穴を掘り遂には市場の荒廃を招く事に成りかねまい。

二十一世紀へのビジョンの中で、活力ある挑戦的な産業へ脱皮するためには、個々の企業及び建設産業全体として創意工夫を積み重ね真摯な自助努力を行なうことが何よりも重要であり、この自助努力を補完するため、官側による、行政的支援の諸政策が検討されるという基本精神が示されている。

要は、業界自らが構造改善事業を通じて節度ある企業活動を行なうよう努めてこそ、活力ある業界・企業として二十一世紀に向かって大きく飛躍するであろうと言うことである。「言うは易く、行は難し」ではあるが、「ローマは一日にして成らず」何事も随より始まることを忘れてはなるまい。

専務理事 松田 寛司

石垣島にて

飯田 重利

(株)飯田機械産業

汐引けばマングローブの陸となる
石垣島に避寒の日過ごす
マングローブに寄せ来る波の小さくて
八重山の島に驚を聞く
岬鼻に展々牧場の放牛に
付く驚のあり見えて遙けし
ガジュマルの下に憩ひて洩るる日の
気根の上に揺らぐを眺む
マングローブ茂り珊瑚の砂白く
耀き見けん竹富島は
竹富島の珊瑚の岩の石垣に
海よりの風光りつつ吹く
竹富島の珊瑚砕けし砂の道
さくさくとして日差を乱す

可発ステッカー(非会員用) の取扱いについて

今年度より、非会員の可発整備技術者が誕生しましたので、これに伴い、非会員の為のステッカーを作成致しました。

会員が第三者（建設業者等）から発電機の定期点検整備の依頼を受けた場合には、この非会員用ステッカーを貼布することになります。この取扱いについては、全建リース協第61-045号（61.10.28）付「第三者所有発電機の受託整備とステッカーの取扱いについて」によりますのでご了承下さい。詳細については別項の通りです。

尚、会員用ステッカーについては従来通りです。

非会員用ステッカー頒布価格

（会員渡）400円/1枚

（非会員渡）600円/1枚

但し、送料は別途とします。

第三者所有発電機の受託整備 とステッカーの取扱いについて

全建リース協第61-045号

昭和61年10月28日



会員用

非会員用



以上

申込書様式 (記入例)

昭和61年//月//日

社団法人 全国建設機械器具リース協会 殿

所在地 東京都千代田区神田駿河台2-1
 会社名 全建リース株式会社
 会員番号(3/754)
 代表者 山田 太郎 印
 整備技術者 山田 二郎 印
 資格証番号 第7654号

定期点検済証(ステッカー)申込書

可搬形発電機の定期点検(整備)にかかる「定期点検済証(ステッカー)」を下記の通り申込みます。

記

発電機の所有者	出力	形式	製機番	製造年月	備考
大和建設(株)	100	DC-10	12345	58.3	
"	75	DC-7	2345	55.5	
西部建設	15	AB-15	1456	57.6	
"	"	"	1532	58.5	
中部建設工	125	9-125	3457	60.8	
"	6	9-6	416	59.9	
合計	6台	必要枚数	6枚	単価	金額

お知らせ、報告

●全建リース協厚生年金基金制度、最後の追込みへ

全建リース厚生年金
基金設立準備委員会

第一次募集(61/5~7)と第2次募集(61/8~10)により下記加入者現況が次第に明らかになりました。10月末で仮締切を行い7,000名以上に達したら、厚生省へ予備申請を行います。

1. 現況(61.10.21現在)

目標数値

被保険者数 10,000人……(1)

加入(委任状・同意書提出済)

被保険者数 5,642人……(2)

目標達成率 (2)÷(1)×100 56.42%

2. 見込み(分析)

「加入確約」の被保険者数は971人につき、

当然100%加入として971人……(3)

「前向き検討」の被保険者数は1,904人

「検討中」の被保険者数は3,524人

計5,428人につき65%加入として3,528人……(4)

そこで(3)+(4)で4,499人となり、(2)の加入被保険者5,642人と合計して10,141人となります。したがって、目標数値の被保険者数10,000人の達成は十分に可能であります。みなさまのご協力をぜひお願い申し上げます。

●陳 情

建設産業専門団体協議会(建専協)33団体の代表(坂井会長列席)は昭和61年9月19日自民党本部を訪問し、竹下幹事長、安部総務会長、伊藤政務調査会長に対し

『公共事業予算に関する要望書』

山中税制調査会長、全国組織委員長に対し

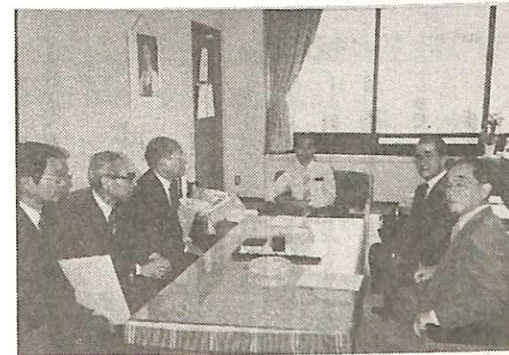
『昭和62年度税制改正に関する要望書』等を提出した。

又、10月3日建専協、関連業種4団体(全建リース協、建コン協、全地連、全測連)は、坂井会長を代表として労働省を訪問し

『昭和61年度下期公共事業費予算の大幅増額

補正と昭和62年度公共事業費予算の大幅増額確保に関する要望書』

を平井労働大臣他に提出し善処を要請した。



労働省、新村高令者対策部長に陳情

●リース賠償責任共済制度による団体損害保険契約について

全建リース協とA I Uとの団体損害保険契約(覚書)による昭和61年度の契約高及び支払保険について報告いたします。

昭和59年7月~昭和60年6月……1年間

支払保険金額(予定を含む)(65件)55,601円
 保 險 料 (契約297件) 51,176円 =108%

(参考)支払保険金額の最低は、24,000円、最高8,470,000円、です。

この団体損害保険契約につきましては、会員よりの意見、要望があり、下記について総務、調査委員会において検討することとしました。

- (1)現行保険制度における保険料負担(無事故者の公平性を保持するための負担料金低減方式と有事故者に対するペナルティ制度)の検討。
- (2)売上高僅少の契約者の負担軽減。
- (3)無事故契約者(70%)に対するメリット制

の導入

- (4)将来的に全体の損害率の改善、安定の為にメリット、デメリット制の検討
- (5)加入者(現在約30%の会員が加入)増加の為に積極的PR活動(啓蒙運動)
- (6)契約内容の見直し(きめ細かな内容とする)
- (7)保険金の納入方法(分割方式など)の検討

●中小企業から見た 商法・有限会社法の改正 大幅な資本金増額への対応

昭和57年以来、法務省法制審議会商法部会にて、会社法の全面見直し作業を行ってきたが、このほど「商法・有限会社法改正草案」を取りまとめ、これを関係各界に公表し、昭和61年11月15日までに意見聴取の上、昭和63年に商法部会答申を経て、法律案を国会へ提出の予定にある。

我々中小企業に及ぼすこの法案の影響は大きく、殊に、「最低資本金制度」が実施された場合においては、株式会社においては現行の35万円が2千万円に、有限会社においては現行の10万円が、500万円に引き上げられる等となる。これは、現存の株式会社全体の80%90万社が、有限会社は全体の83%88万社が草案の最低基準を満たしておらず事前の十分な対応が求められる。



北海道建設機械リース業協会

○建設省建設経済局長より 感謝状を贈られる

6 1.5.1 5

北海道建設機械リース業協会は業界の健全な発展のため、多大なる貢献をしたものとして、当協会設立15周年記念日に当り建設経済局長より感謝状が贈られました。

6 1.5.2 7

なお設立15周年記念行事として、建設省建設経済局、建設振興課関東課長輔佐他多数の来賓を招き札幌市内きょうさいサロンに於て正会員、賛助会員合同による感謝状授与式典を開催した。

○伊藤鉄雄氏（協大鉄代表取締役） 建設大臣表彰に輝く

6 1.9.9

昭和61年7月10日付、建設省会議室に於て恒例の建設大臣表彰式が行われたが北海道支部相談役伊藤鉄雄氏は永年に亘り、北海道支部の会長として、又(社)全国建設機械器具リース業協会副会長として、業界発展のため尽された功績により栄えある建設大臣表彰状並びに記念品が贈呈されましたので、当協会主催により、きょうさいサロンに於て盛大なる祝賀会を開催いたしました。

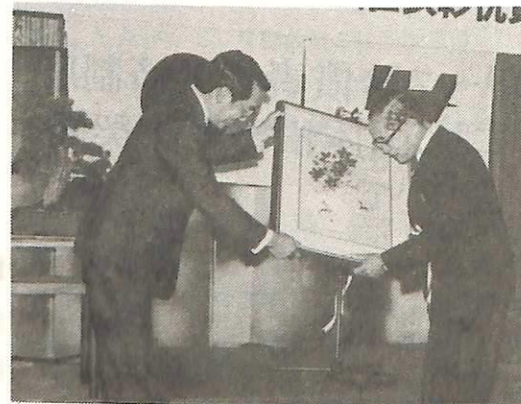
○傘下地域支部活動の

活性化に向けて前進

第15回総会を機として、広域に亘る当協会内に地域別の10支部を設置(154社)と、各々



建設経済局長の感謝状



建設大臣表彰祝賀会

担当役員を定め各支部地域の実情に則した活動を活発化するため会員相互のコンセンサスを深め、各種研修会の開催。会員相互間による業務提携等8ヶ条に亘る諸事業の推進により北海道建設機械リース業協会を中心に団結と社会的地位の向上を目的とした活性化へと踏み出した。

新東京建設機械リース業協会

1. 当協会は、下記諸会議に於て、構造改善、厚生年金基金制度及び会員の異動、市況等につき審議並びに情報の交換を行った。

会 議	開催日	出席者	議 題
会 員 総 会	昭和61年5月	正 会 員 142名 賛助会員 24社 39名	決算、予算、理事改選
理 事 会	昭和61年3月	22名	構造改善、登録
"	昭和61年5月	21名	代表理事選任
"	昭和61年7月	22名	理事の管掌業務、業務提携
"	昭和61年9月	21名	構造改善、業務提携
トンネル部会	昭和61年9月	9社12名	市場分析、情報交換
ベルトコンベヤー部会	昭和61年6月	6社 6名	市場分析、情報交換
地区懇談会	昭和61年6月	A 地区城南	G 地区千葉、業務提携
	昭和61年7月	D 地区城北	業務提携

2. 議長の輪番制

小俣会長の委嘱により副会長5名が輪番で理事会の議長となり会議の運営に当たっている。

3. 構造改善計画に対する所見

構造改善計画は個別の会員ベースでなく業界全体が相互に協力しつゝ業界の共通課題の解決を図っていく事業を実施するための計画であります。

構造改善事業の実施者は個々の会員ですから会員の皆さんに構造改善に関して十分認識していただき、本当に効果的な計画が自主的に作成できるよう啓蒙指導を行ない会員に計画に対する信頼を得られなければ改善事業の進展はありません。

会員には今までやってきた自信と自負があります。
今さら手を組む要はないという考え方もあります。

従って会員の抱えている問題を正しく把握し真に業界のニーズに沿った具体的な計画でなければなりません。その動機づけは対話の積み重ねから生れます。度々顔を合わせる事が有効と思われます。現にそして将来予想される系列化、異業種からの参入等々困難な問題に対処できるのは業界のレベルアップとモラルの向上による結束以外にはありません。今後会員に構造改善に関して如何にご理解願えるかが構造改善事業展開の課題のように思われます。

確かな未来、確かな技術。



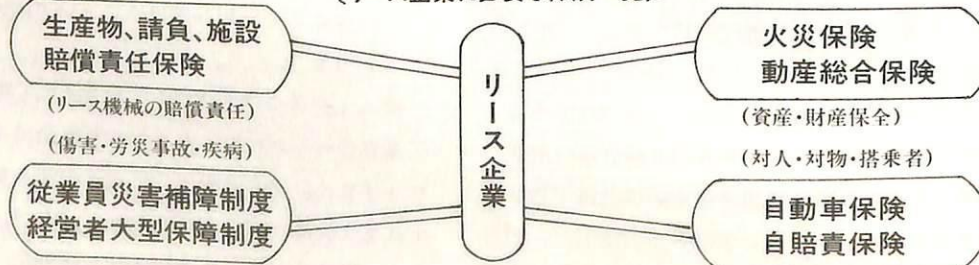
⑤ 林バイブレーター株式会社

本社・東京支店 〒105 東京都港区浜松町1-17-13 ☎03(434)8451代
大阪支店 〒565 大阪府豊中市上新田4-6-8 ☎06(831)3008代
工場 〒340 埼玉県草加市稲荷5-26-1 ☎0489(31)1111代

札幌営業所 ☎011(704)0851 広島営業所 ☎082(278)6868
仙台営業所 ☎022(259)0531 高松営業所 ☎0878(82)7117
関越営業所 ☎0273(23)0771 九州営業所 ☎092(451)5616
名古屋営業所 ☎052(914)3021 鹿児島営業所 ☎0992(67)6611

さまざまなリスク(危険)からリース企業をがっちりガードする……

[リース企業に必要な保険一覧]



まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。



引受保険会社 **AIU 保険会社**

(エイアイユー インシュアランス カンパニー)
赤坂支店: 東京都港区赤坂3-1-2
TEL 03-(583)-1121

取扱代理店 株式会社 **サンディ**

横浜: 横浜市戸塚区品濃町539-6アーバン東戸塚6F
〒244 TEL045-821-7181
東京: 東京都港区赤坂6-18-3アイビービル4F
〒107 TEL03-505-4955
大阪: 大阪府北区角田町8-47阪急グランドビル16F
〒530 TEL06-316-1541

KOBELCO Yutani

SKO7-2
油圧ショベル

すべてが新しい。
人間尊重の先端マシン。



- ★最大掘削力10.7ton
- ★走行速度4.0km/h、けん引力14.7ton
- ★新・KPSSにより省エネをさらに推進。
- ★耐久性も一段とグレードアップ。
- ★室内容積を30%アップしたザ・ビッグキャブ。
- ★豪華なクロス張りリクライニングシート。
- ★広範囲な微操作を可能にしたFCモード。
- ★120PS直噴ターボエンジン搭載。

新発売

■バケット容量=0.45~1.1m³ ■エンジン出力=120PS ■全重量=18.5ton



神鋼コベルコ建機株式会社

〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8
☎(03)797-7111(代表)

明治生命



かけがえのない肩だから。

経営者・役員を守る生涯保障プランです。

1. 大型保障で、働き盛りの経営者の信用を支えます。
2. 事業の発展に貢献された経営者・役員のための
(生存)退職慰労金の準備ができます。
3. 保険料は会社経理で。
しかも定期保険特約部分の保険料は、損金処理できます。

明治の経営者保険

ダイヤモンド保険 ニューライフ (定期保険特約付終身保険)

AI CHI

狭い。



わたしの現場は

だから小型。しかも静かな“住宅地タイプ”、B-241S。
だからコンパクト。しかも前積が得意な“密集地タイプ”、B-241AL。

狭い日本に狭い街。都市土木工事の現場も、もちろん狭い。「ならば車両を小型化し、それ相応の機能を持たせよう」ということで登場したのがこの2台。B-241ALはアーム自動伸縮機構を採用。狭小地での前積作業が非常にラク。そしてB-241Sは低騒音パワーユニットを装備。住宅密集地で、とても静かな作業を行います。さらに双方とも「長時間作業」でも疲れないよう運転席まわりの形状を改良・工夫。大型点検扉を設置するなど、小型に似合わない機能の充実ぶり。いま、稼働率で選ぶならこの2台。日本全国の市街地、住宅地が職場です。

愛知車輛株式会社

B-241S

- 掘削深さ=4,000mm
- 掘削半径=6,200mm
- 掘削高さ=6,100mm
- ダンプ高さ=4,250mm
- 前積距離=2,300mm
- 騒音レベル=55dB/30m
- 架装シャシ=2.5tonクラス

同時新発売

B-241AL

- 掘削深さ=4,850mm
- 掘削半径=7,000mm
- 掘削高さ=6,600mm
- ダンプ高さ=4,750mm
- 前積距離=3,200mm
- 架装シャシ=2.5tonクラス



アイチ ホッダー シリーズ

東京支店 ☎03(862)4121代・名古屋支店 ☎052(621)5112代・大阪支店 ☎06(968)7731代・営業本部 ☎0487(81)1111代・愛知車輛北海道販売 ☎011(665)1301代・愛知車輛東北販売 ☎0222(36)0421代・愛知車輛北越販売 ☎0764(34)2181代・愛知車輛中国販売 ☎082(285)0201代・愛知車輛四国販売 ☎0878(74)0808代・愛知車輛九州販売 ☎092(935)5353代

工事排水用水中ポンプ

これ以上軽くはできません!

待望のアイムセミボルテックス V-400で14kg
Vシリーズ登場!

小さなボデーに
アイムならではの技術を結集し、
最低の管理コストを実現。
今日からポンプのメンテナンス費用
気になりません。
今が見直しのチャンスです。



特 長

- ボデーはアルミ合金により抜群の軽量さ
- ボルテックス形のため詰まりや噛込がない
- 羽根車の磨耗が少なく特性低下がない
- 吐出管の取付け方向が変えられホース折れ
がなくなる
- 余裕のある半内装形冷却により低水位運転
も安全
- 最少限のメンテナンスでよく稼働率が向上

用 途

- 一般土木・建設工事の排水
- 湧水・溜まり水などの排水
- マンホールなどの排水
- 地下道・トンネルなどの排水

仕 様 (50/60Hz)

形式	口径 mm	出力 kW	極 数	相・電圧 V	全揚程 m	吐出量 m³/min	重量 kg	始動方式	ポンプケーブ mm×心数×長さ
V-400	50	0.4	2	単相100	8	0.12	14	コンデンサ	1.25×3×8m
V-51	50	0.75	2	三相200	10	0.18	15	じか入れ	1.25×4×10m
V-82	80/50	1.5	2	三相200	10	0.35	27	じか入れ	1.25×4×10m
V-105	100/80	3.7	2	三相200	10	0.9	47	じか入れ	2.0×4×10m

技術で明日をひらく



アイム

アイム電機工業株式会社

本社・工場 〒807 福岡県遠賀郡水巻町大字猪熊字内川端1393-1 ☎093(202)4141

東京 ☎(3)766/4131 札幌 ☎011(222)3802 仙台 ☎022(271)5580 新潟 ☎0252(87)1144
 津 ☎0439(52)2972 北関東 ☎0486(44)5811 千葉 ☎0472(477)8913 大阪 ☎06(326)3163
 名古屋 ☎052(412)2931 和歌山 ☎0734(55)7466 四国 ☎0897(37)3451 岡山 ☎0864(48)0221
 広島 ☎082(243)8191 福岡 ☎092(503)8195 北九州 ☎093(202)4141

先進の油圧技術で、 多彩な産業分野の 効率化を進めるタダノ。

昭和30年、国産初のトラッククレーンを開発したタダノ。

以来、豊富な経験と蓄積された技術により
タダノはつねに時代のニーズに応えた多種多彩な製品づくりに取り組んでいます。

そして、いまでは土木建設に欠くことのできない

大型トラッククレーンを始めラフターラインクレーン、ミニクレーン
高所作業に際立った威力を発揮するスカイボーイ、さらにセルフローダ、
バックホウなどを揃え、幅広い作業や用途にお応えします。

新時代、タダノは技術革新に対応しながら

最新技術を駆使した効率的な製品の開発を進めます。



スカイボーイ
AT-230CG
バケット底面高さ 23.0m
4t車架装

新登場

6段ブーム
TM-30ZHHM
最大吊上能力 2,930kg
最大ブーム長さ 14.42m
4-6t車架装

ラフターラインクレーン
TR-400M
最大吊上能力 40,000kg
最大ブーム長さ 33.4m+13.0mジブ

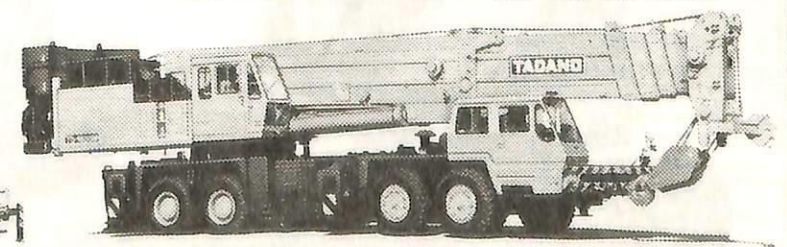
セルフローダ
TF-750H
クレーン容量 7t・m (2,980kg × 2.35m)
4-12t車架装

高性能照明車
LS-72A
投光出力 700w×2灯
ランプ型式 メタルハライドランプ
MF700/BUH
ブーム型式 2段全油屈折式

トラッククレーン
TG-1600M
最大吊上能力 160,000kg
最大ブーム長さ 50.0m+27.5mジブ

新登場

ボールセッター
DT-700P
最大吊上能力 2,900kg×4.55m
最大掘削トルク 700kgf・m
最大掘削深さ 5.2m



TADANO

株式会社 多田野鉄工所

営業本部 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル30F TEL 03(435) 3611代表

お問い合わせ、お求めはお近くの当社支店・営業所までどうぞ。

北海道(札幌)011(861)9030/帯広0155(25)6262/室蘭0143(44)0045/旭川0166(25)2817/東北(仙台)022(257)4556
 北海道(札幌)011(861)9030/帯広0155(25)6262/室蘭0143(44)0045/旭川0166(25)2817/東北(仙台)022(257)4556
 /盛岡0196(52)2248/青森0177(77)4231/秋田0188(64)8669/郡山0249(32)3513/関東(大宮)0486(41)3621/水戸02
 92(24)1155/宇都宮0286(35)8555/千葉0472(42)2261/東京03(699)1441/多摩0423(65)0981/南関東(横浜)045(20
 1)8771/静岡0542(82)2117/北陸(富山)0764(31)8427/新潟025(245)7321/福井0776(53)2561/名古屋056(76)1181
 /松本0263(35)16131/大阪06(746)8731/京都075(681)0421/和歌山0734(53)7721/神戸078(928)9061/四国(高松)0
 878(39)5777/高知0888(45)0073/松山0899(43)5133/中国(広島)082(884)0255/岡山0862(23)9258/徳山0834(31)
 1715/松江0852(24)7050/九州(福岡)092(411)9944/北九州093(531)2681/大分0975(32)6337/鹿児島0992(53)0008
 /長崎0958(28)2766/宮崎0985(54)2843

いずれも精強!! 猛者揃い

現場渴望のニューマシーン。いま
センセーショナルに新登場

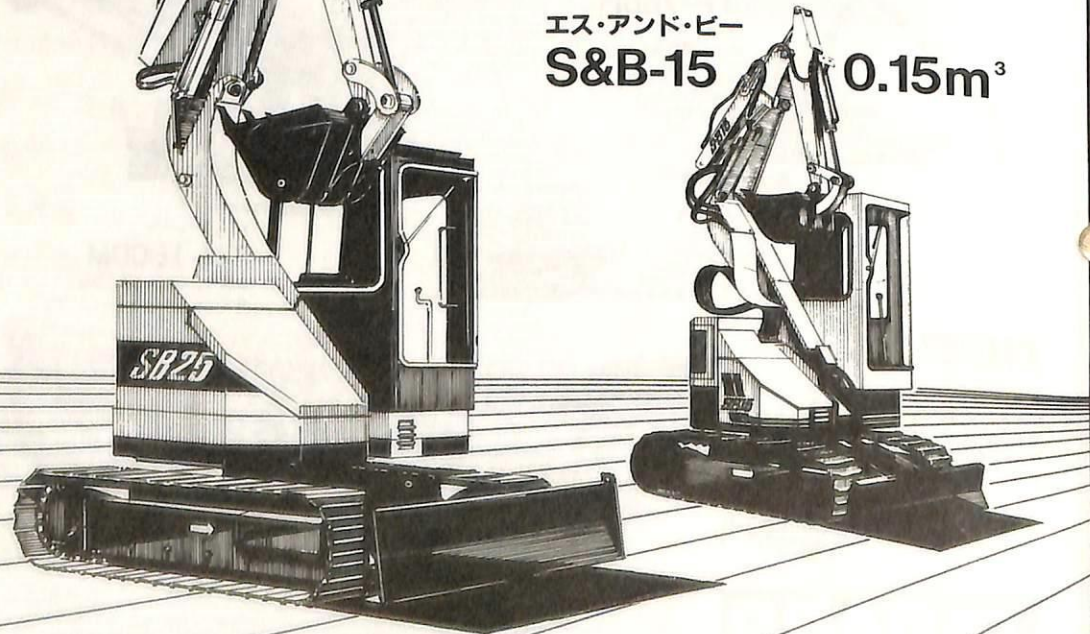
エス・アンド・ビー S&B-25/0.25m³

- クラス最大の掘削深さ、最小の旋回半径。
- 路地の下水道工事、片側車線内安全工事に最適。
- レバー操作方式をワンタッチで好きな形に変えられます。
- 車幅内で掘削～旋回～積み込みができます。
- オフセット機構で、機体を旋回することなしに車体の全幅掘削ができます。

★下水道工事のスーパー
車幅内旋回
車幅内作業



エス・アンド・ビー S&B-15 0.15m³



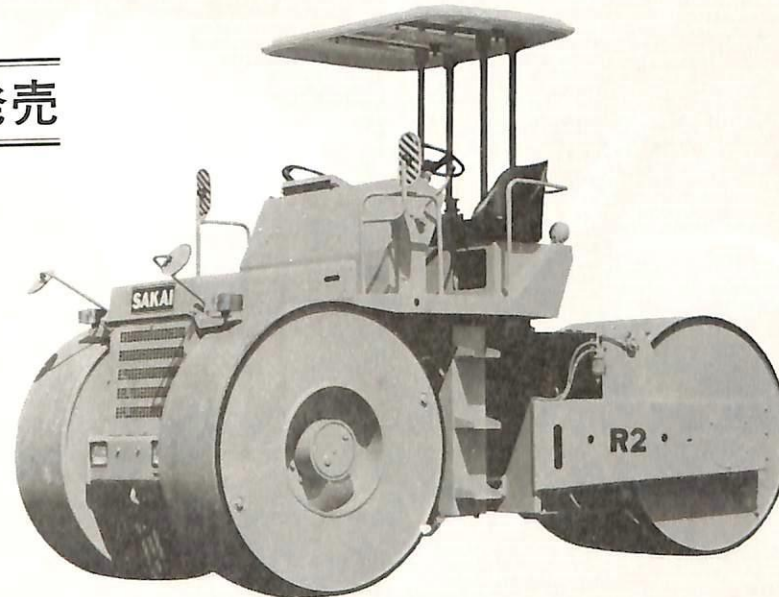
日産機材株式会社
TEL (0492)-58-1811(代表)

《特許・実用新案出願中》

新しいポテンシャル スマートなスタイリング 高性能、マカダムローラ・ニューR2シリーズ

全輪油圧駆動、アーティキュレートタイプのマカダムローラを最初に手がけた
SAKAIが、その永年の経験と豊富なデーターを基に、新たに開発したニュー
R2シリーズ。二速可変形のホイールモーターの採用など、多くの新技術を導入し、作業の安全性、効率性、汎用性などを実現しています。

新発売



型式は、車体重量9,600kgのR2s・車体重量10,600kgのR2H・チルトイングロール(フロント
ロール) 装備のR2T・リヤ2分割ロールのR2Nの4バリエーションがあります。
フロント・リヤロールとも等径、等駆動でベースから表層まで平滑均一に仕上がります。

1. 型式および重量

	車体重量	総重量
R2s	9,600kg	11,600kg
R2H	10,600kg	12,600kg
R2T(受注生産)	10,600kg	12,600kg
R2N(受注生産)	10,600kg	12,600kg

2. 転圧巾 2,100mm。前後輪のオーバーラップ量 50%

3. 車速 Low 0~7.5km/h。High 0~15km/h

4. 登坂能力 18°

5. 搭載エンジン 日野W04D ディーゼルエンジン エンジン出力 66ps (燃費 164g/psh)

6. 燃料タンク容量 120ℓ

7. 散水タンク容量 600ℓ

酒井重工業株式会社

本社 東京都港区芝大門1-4-8 (浜松町清和ビル) ☎03(434)3401
札幌営業所 ☎011(241)8410 仙台営業所 ☎0222(31)0731 東京第1営業所 ☎03(431)9961
芝浦出張所 ☎03(452)8611 東京第2営業所 ☎0485(96)3336 名古屋営業所 ☎052(563)0651
大阪営業所 ☎06(364)2012 茨木出張所 ☎0726(25)1652 広島営業所 ☎082(227)1166
福岡営業所 ☎092(503)2971 H.M.Pチーム ☎0485(96)6591

羨望のミニ登場!!

Job-Ace ミニバックホー
TB250

DIG THE WORLD.



—可変型高周波杭打抜機—
高能力・超低公害

VX シリーズ
40・60・80



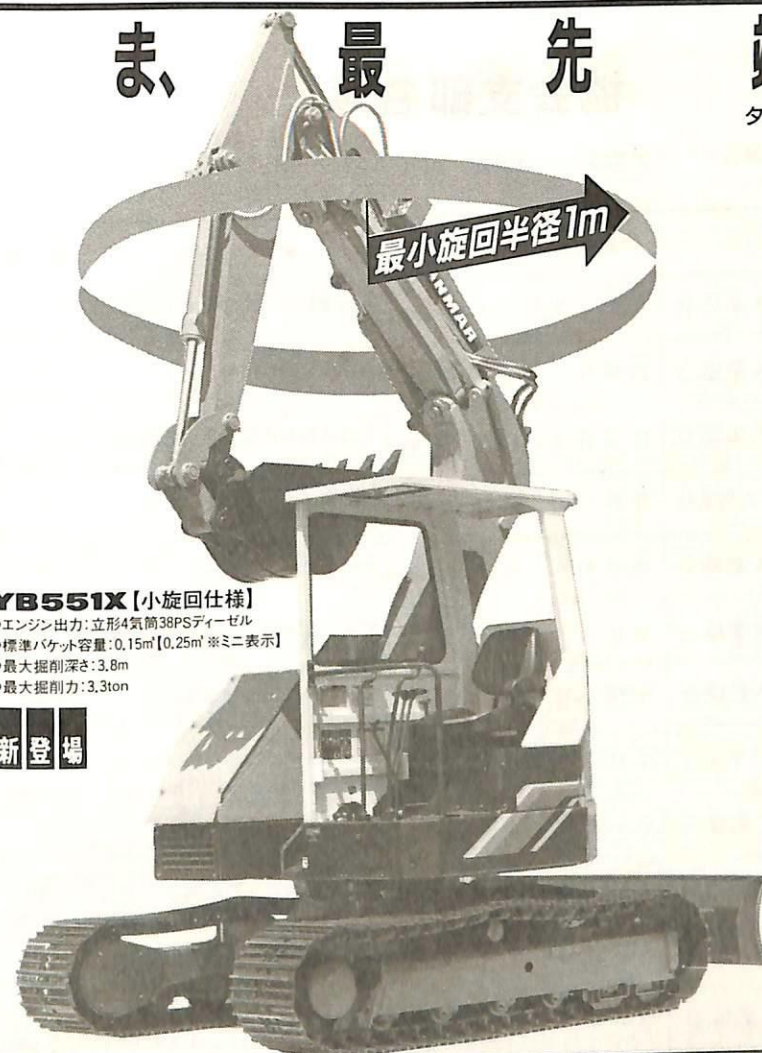
●VX専用発電機

●スラッシュジェット SJ-125E

トーマン建機販売株式会社

東京本社 東京都品川区五反田2丁目28番11号(第5岩田ビル)
☎(03)492-8481

い ま、最 先 端
ターン



YB551X【小旋回仕様】

- エンジン出力: 立形4気筒38PSディーゼル
- 標準バケット容量: 0.15m³【0.25m³ ※ミニ表示】
- 最大掘削深さ: 3.8m
- 最大掘削力: 3.3ton

新登場

**ヤンマー
クローラ
バックホー**

※カタログご希望の方は、本社・宣伝部まで。

ヤンマーディーゼル株式会社

〈本社〉大阪市北区茶屋町1番32号 千530 TEL (06)372-1111(代)
〈支社〉東京〈支店〉札幌・仙台・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

その他ヤンマー小旋回バックホーシリーズ — YB101UZ (0.85m) YB151U (1.11m) YB201Z (1.35m) YB231Z (1.35m)
YB251UZ (1.33m) YB281X (0.8m) YB301UZ (1.33m) YB351UZ (1.54m) YB401UZ (1.48m) YB451UZ (1.51m) YB501UZ
(1.57m) YB601U (1.75m) など豊富な機種を取り揃えています。 ※()内はフロント最小旋回半径を表しています。

小さなターンで
大きく稼ぐ。
大容量・超小旋回・安全性
どれをとっても一級品。車幅内旋回が可能の
鮮やかな旋回性能とみなぎるハイパワーを見
事に両立させたYB551X。これからの都
市型土木のニーズに対応した最先端バックホ
ー。リース業の目玉商品に最適です。
●大形フレードの採用で排土作業は一段と向上。
●11トンダンプの積込みもラクラク。余裕のダン
プ高さ4.75m。
●土ごぼれの少ない全シリンダクッション付き。



大きく掘って『小旋回』

協会支部名簿

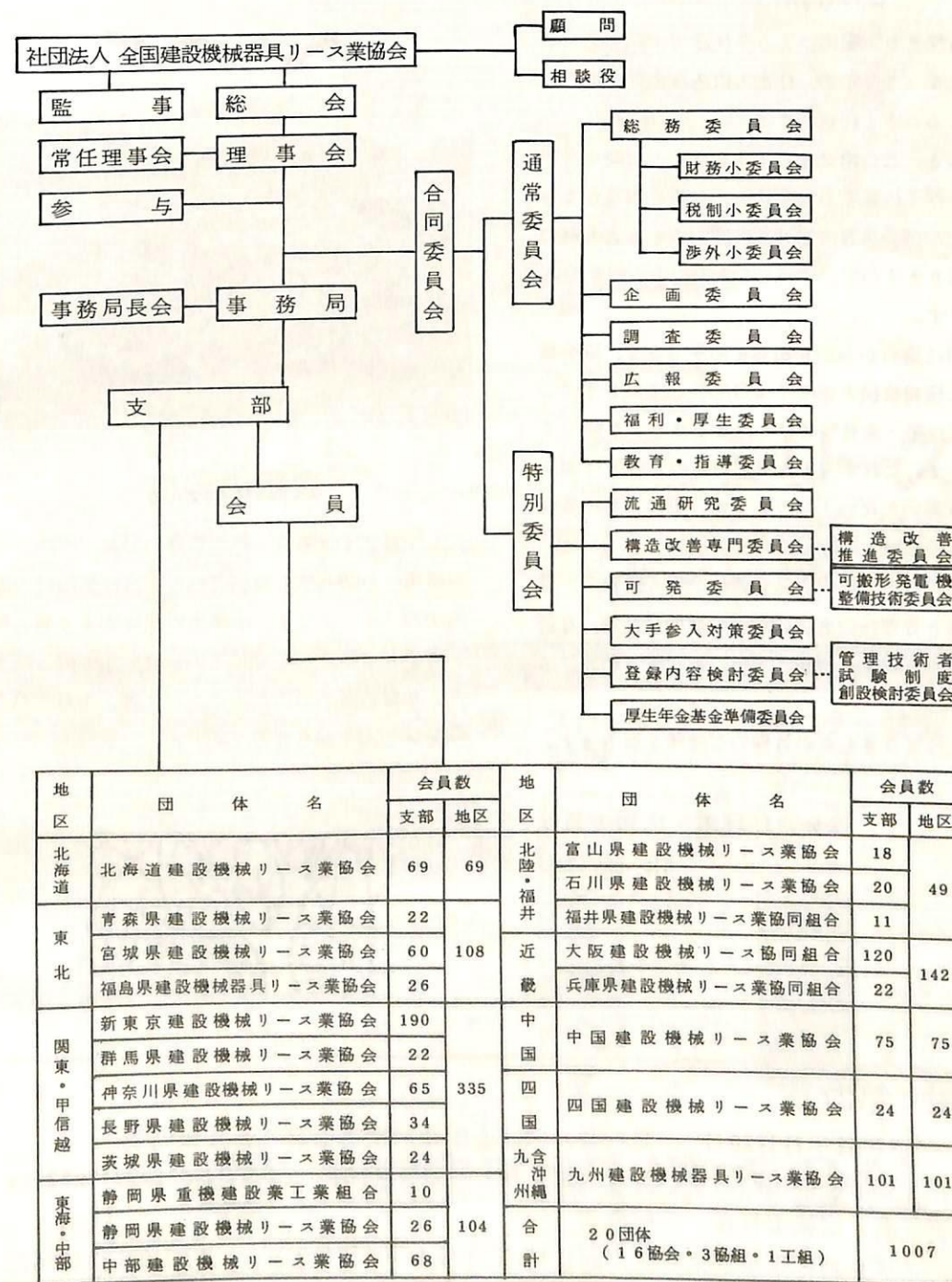
(昭和61年11月現在)

社団法人 全国建設機械器具リース業協会 事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4階
会長 坂井 照 TEL 03(293)7273~4 FAX03(293)7275

支部名称	代表者名	事務局長名	事務局所在地	電 話	〒
北海道建設機械リース業協会	片 桐 理	安達美代治	北海道札幌市中央区北4条東2-7-3 斎藤ビル2F	011 221-1485	060
青森県建設機械リース業協会	高橋弘一	小田桐勝雄	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177 41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部喜平	高田定雄	宮城県仙台市福室字高砂駅東17 青葉商工ビル3F	0222 59-0631	983
福島県建設機械器具リース業協会	菅野 剛	鈴木英子	福島県郡山市富田町字向館121-20	0249 52-0588	963
茨城県建設機械リース業協会	染谷和良	河合政彦	茨城県新治郡千代田村上稲吉2044 三委自動車(株)内	0298 31-1261	315
群馬県建設機械リース業協会	高屋浩志	坂本勝利	群馬県前橋市小出町755-8 高栄リース(株)内	0272 33-0522	371
新東京建設機械リース業協会	小 俣 實	関口正一郎	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294 4071~2	101
神奈川県建設機械リース業協会	中 村 憲	田 口 政 重	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町1-6-1 岩井ビル5F	045 322-0613	221
長野県建設機械リース業協会	原 幸男	清水英明	長野県飯田市大門町26 (株)原鉄内	0265 24-9178	395
静岡県建設機械リース業協会	松井重雄	片 桐 茂	静岡県浜松市上西町865 大興リース(株)内	0534 63-8821	435
静岡県重機建設業工業組合	近藤憲一	山 川 安 豊 (保坂益男)	静岡県静岡市新川2-1-40 新川ビル2F	0542 85-9231	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 照	津田正哉	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通り3-43 小出ビル内	052 571-2080	451
富山県建設機械リース業協会	高野義雄	小 倉 秀 信	富山県黒部市沓掛567 吉田商会内	0765 54-1371	938
石川県建設機械リース業協会	吉川義孝	副 田 正 夫 (後本 暁男)	石川県金沢市長田本町チ57-1 (株)ケンシン内	0762 64-1255	920
福井県建設機械リース業協同組合	水野健治	松川秀次	福井県福井市問屋町2-45 (株)松田ビル3F	0776 21-9010	910
大阪建設機械リース協同組合	佐川重徳	野崎雅子	大阪府大阪市浪速区桜川3-4-24 カベタニビル内	06 561-7405 561-7407	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	末田芳晴	小川 壮 一	兵庫県神戸市中央区多聞通3-2-9 甲南スカイビル2F206号	078 361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口誠輔	三 木 勢 造	広島県福山市曙町3-200-2 富野機工(株)内	0849 53-9511	721
四国建設機械リース業協会	松井 貢	田 中 萬 一 明 石 俊 幸	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878 43-6140	761-01
九州建設機械器具リース業協会	深尾弘美	松 永 満	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092 651-1192	812

組 織 図

(昭和61年11月現在)



編集後記

秋も深まり、樹木はもう冬仕度です。あと一ヶ月余となった今年の、仕事の追込みにとり組んで居られることと拝察します。

私こと、この第27号より前任の中村副会長の後を受けて広報委員長を承り、会報の担当となりました。副委員長の高野・大坪両氏ともども努力して参りますので、よろしくお力添えの程お願い致します。

会報は協会からのお知らせのみでなく、協会員皆様の情報交換と親しくも目的としておりますので、ご提案・意見等ぜひお寄せ下さるようお願いしております。これまでも各支部からの「地区だより」や短歌等いただいておりますが、更に多勢の皆様からの生の声を期待しております。

本号には構改専門委員会強化会議の概要や、登録制度と管理技術者試験制度の進捗状況等、身近な内容が収載されておりますのでぜひご精読下さい。

終りになりましたが皆様のご健勝を祈ります。

協会常任理事・広報委員長
三瓶徳司

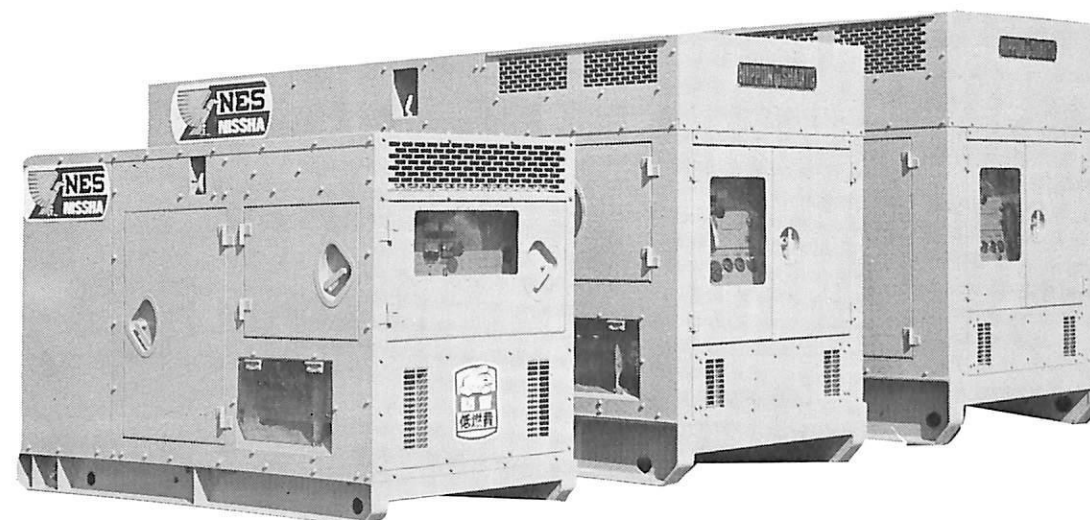
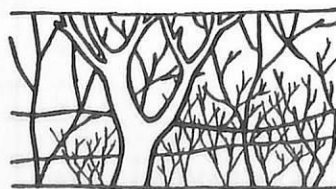
会報 第27号

発行／昭和61年11月20日 発行者／(社)全国建設機械器具リース業協会
東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者／広報委員長 三瓶徳司
制作／ノダ企画・東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル(〒113) TEL03(832)6473



表紙の写真

11月24日第37回理事会の帰途、小観光組が明治村を訪れました。表紙の写真は明治村の園内でのスナップです。小学生の団体が多く熱心にメモをとる組、芝生で元気いっぱい走り回る組、又、年輩の落ちついた小グループ等、それぞれの秋を楽しんでおりました。



NESシリーズ ディーゼル発電機

オプション／防音型・標準型

全自動並列運転装置 シンクロートR



- 本体内蔵型、マイコン式、特別な並列運転装置を必要としないで同期投入、負荷分担が自動で
- 発電機の容量を問わない
- 発電機間の信号線不要
- 耐環境性抜群
- 逆電力保護機能付

自動始動装置



- 発電セットに内蔵され、特別な自動始動装置は必要なし
- 故障表示灯もコントロール盤面に簡単に取り付けられ、異常項目を表示

スローダウン装置<リモコン付>



- 無駄な燃料を、スローダウン装置は約20~30%カット
- ディーゼル発電機の遠隔操作、例えばクレーンの運転席から発電機の始動・停止・スローダウンの操作が出来る

モニター装置



- 運転前・運転中の不具合のチェック
- リース機などの出荷点検の簡便化
- 致命的なエンジントラブルの未然防止
- 最適状態でのディーゼル発電機の使用
- 漏電保護装置(オプション)と合せて使用すればさらに安全性が増す

日車総代理店



にちゅう
日熊工機株式会社

建設機械部／名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 〒460 電話(052)261-8356
建設機械部東京営業所／東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル 〒104 電話(03)552-9551

札幌 釧路 青森 秋田 盛岡 仙台 新潟 金沢 名古屋 大阪 岡山
広島 高知 福岡 鹿児島

確かな技術で世界をむすぶ



エアマン

の建設機械



LESS FUEL & MORE SAFETY

より優れた環境づくりを目指し
豊富な経験と確かな新しい技術で
省エネ、騒音対策、高効率などを
お届けします。



■ スクリューコンプレッサ
PDS125S



■ スクリューコンプレッサ
SMS75S



■ ブラシレス発電機
SDG25S



■ エンジン溶接機
PDW280SC II
(二人同時溶接)



■ ミニバックホー
HM10S



■ ボーマク振動ローラ
BW121AC



■ 油圧ブレーカ
RM1Z

★ 主要製品 ● スクリューコンプレッサ ● ロータリーコンプレッサ ● エンジン発電機 ● エンジン溶接機
● ミニバックホー ● 振動ローラ ● ランマー ● プレート ● 油圧ブレーカ



北越工業株式会社

- 東京本社・支店 / 東京都新宿区西新宿1 22 2 新宿サンエービル 〒160 ☎(03)348 8561
- 大阪支店 / 大阪府摂津市新在家2 32 13 〒564 ☎(06)349 3631
- 営業所 / 札幌・旭川・盛岡・仙台・新潟・郡山・宇都宮・高崎・松本・千葉・横浜・静岡・富山・金沢・名古屋・津・京都・奈良・和歌山・神戸・岡山・松江・広島・山口・高松・高知・松山・福岡・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・那覇